

目の健康

眼圧下げる目薬を続け 今の見え方を維持

今回は緑内障で使う目薬の話です。

緑内障は、症状が悪化しないように、眼圧(目玉の中の水圧)を下げないといけません。20種類以上ある緑内障の目薬は、すべてあの手の手で眼圧を下げる薬です。これらの目薬は、さしたところですつきりはせず、眼圧が下がった感覚が得られるわけでもありません。

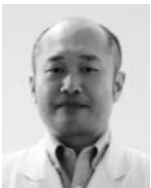
また、目薬をさすのが難しいとお感じになる方も多いと思います。1回で目薬が命中するのは、健康な人でも56%、緑内障の人はわずか39%のことです。物が見えづらかったり、高齢な方にはもっと難しいです。何年も付き合う目薬ですから、薬が合

わないと感じたり、上手にさせないときは、医師やスタッフ、薬剤師さんに遠慮なくご相談ください。

なんとか目薬を続けていただいて、5年後、10年後も今の見え方を維持してもらいたいと思います。目薬全般に言えることですが、さす回数と量は必ず守ってください。多くつけると効果がなくなったり、副作用が出てしまうことがあります。もう一つ、お薬手帳を持ちましょう。ほかの薬との相性もありますし、目薬で体調を崩すことがありますから、お薬手帳で患者さんと医療スタッフが情報を共有できれば安心です。

目薬のさしかた

- 1 点眼前に手指を洗う
- 2 背もたれのある椅子に座るか仰向けに寝る
- 3 下まぶたを下げて、まつ毛に触れないように1滴を入れる
- 4 目薬のあとは1,2分は目を閉じたままにする



宇井 理人 先生

プロフィール

北里大学北里研究所病院
宮久保眼科非常勤医師
<専門>緑内障、眼科一般